

# 2014 年度執行部が発足しました——要求を継続し、労働条件の改善に務めます!!——

## 執行委員長 白石 陽一（教育学部 教育学）

私は、誤解を恐れずに言いたいのですが、いま、組合活動に関心をもつことや組合活動にかかわることは、「かっこいい」ことだ、と思うのです。「かっこいい」が言いすぎだと批判されるなら、一步後退して「ふつうの」ことだと言いかえましょう。

職場の理不尽さやおかしさを「公にする」こと、自分の働き方に責任をもつがゆえに「発言する」ことは、働く者の権利であるとともに、責任ある行為ですらあります。一定の範囲内ではありますが、自分たちの働き方を自分たちで決めるよう努力する、これは成熟した市民の姿勢です。

「だいじなことはみんなで決める」と義務教育の指導書は教えています。働く者の「権利」、働く者の「つながり」、働くための「ルール」(労働法)を学び合うことは、中等教育に必須の内容となりつつあります。労働条件について要求することは、断じて「ものとり」ではなく、「幸福追求」の行為です。声を出し合う権利、立場のちがう人が話し合う権利、現場を広く知ってもらおう権利、これらの権利を行使することは憲法の本質にもとづくのであり、それゆえに「あたりまえ」と言ってもおかしくない行動のはずです。

おかしいことがおかしいと言にくいとき、しごとの辛さを発言することがはばかられるとき、ひとりで声を出すことがきつくなっているとき、「組合」的な活動は、存在意義を増すでしょう。みなさんの「声」と「要求」をお待ちしています。声を束ね、要求を組織化していきましょう。

## 書記長 村里 泰昭（教育学部 英語教育）

熊本大学が 2004 年に国立大学法人となり今年で 10 年になります。公務員の身分を奪われた私たち教職員と熊本大学使用者との労使関係もまた 10 年目を迎えたわけですが、はたしてその関係は、この 10 年の歳月を重ね、真に良好な関係へと成熟してきたと言えるでしょうか。

2005 年度の賃金交渉以来、組合は、時には激しい抗議行動を通し、また時には労働委員会の法的なあっせんを得ながら、労働法上の使用者としての責任ある対応を一つまた一つと引き出すよう務めてきました。賃金や労働条件を巡って労使が対立するのは当たり前のことですが、互いに譲歩しながら合意を目指して誠実に議論を尽くしているのであれば、労使関係は極めて良好であると言えますし、これまでに、そのような信頼関係を実感できる機会が無かったわけではありません。

法人化 10 年目の 2014 年、ここ最近の労使関係を振り返ってみるとどうでしょう。非常に悲しいことに、退職手当引き下げや教員任期制の導入手続きにかかわり、団交の重要性を無視した一方的な不利益変更を繰り返す使用者との間に良好な関係が成立しているとはとても思えません。この 10 年の努力を平然と踏みしめる使用者には怒りを禁じませんが、失われたものはまた一から作り直すまでです。今年もまた強い向かい風が吹くでしょうが、私たち執行部が前を向いて進んでいけるよう、組合員のみなさんご支援をお願いいたします。

## 役員名簿（敬称略）

支部名	役職名	氏名	担当部会（専門、職種）
教育学部	執行委員長	白石 陽一	賃金、組織・財政、現業職員
医学部	副委員長	石原 光浩	賃金、組織・財政、現業職員、看護師、医療技術職員
教育学部	書記長	村里 泰昭	賃金、組織・財政、事務職員、現業職員
工学部	書記次長	清水 久雄	賃金、組織・財政、技術職員、国公共闘
文・法学部	執行委員	竹内 裕	女性、有期雇用職員
文・法学部	執行委員	平野 順也	教育文化・レク、教員
文・法学部	執行委員	松原 弘信	組織・財政、教員
教育学部	執行委員	藤中 隆久	教育文化・レク、教員
工学部	執行委員	山口 倫	青年、技術職員
医学部	執行委員	大塚 勝二	教育文化・レク、有期雇用職員、医療技術職員
医学部	執行委員	大塔美咲子	女性、看護師
医学部	執行委員	土井 康寛	教育文化・レク、医療技術職員
医学部	執行委員	中村 直子	女性、技術職員
理学部	執行委員	小松 俊文	青年、教員
理学部	執行委員	原岡 喜重	教育文化・レク、教員
教育学部	監査委員	池田 志郎	
医学部	監査委員	吉津美弥子	
理学部	監査委員	田中 明	

組合事務所には午前9時半～午後5時半まで書記の徳永（医支部）、前田（本部）が勤務しています。

## 書記局員を募集します

今年度も組合規約第 23 条 3 項にある、書記長業務を応援・お手伝いする書記局を設置します。ご協力いただける方は、6 月 27 日（金）までに組合事務所（下記）に連絡してください。よろしくお願いいたします。

<b>赤煉瓦</b>	熊本大学教職員組合	
	No.1 2014. 6. 17	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp http://union.kumamoto-u.ac.jp/